



令和5年12月12日発行

時間の区切りをフレキシブルにします

これまでは、一律、45分を単位時間として授業時間を設定し、5分のトイレ休憩も、全学年同じようにしていました。来年度からは、中休みまでの3時間を45分×3の135分、後の2時間を45分×2の90分とし、45分を基本としながらも、最小単位時間を15分として、柔軟な時間割を工夫することができるようにします。

フレキシブルな時間割のメリット！

その1 学年や学習内容に応じた学び方ができます！

- 「短い時間のほうが効果的」「もう少し長ければもっと学びが充実する」など、質の高い学びがコーディネートできます。
- たとえば…

15分	スキルタイム	30分	テスト
45分	従来の授業	60分	習字、体育、実験
- 1年生は短い時間で集中力を高める、高学年は一人ひとりの課題解決に向けてじっくり取り組むなど、発達の段階に応じた時間設定が可能になります。

その2 トイレや流し場の混雑がなくなります！

- 駒岡小の校舎の造りでは、一か所のトイレを100人以上の子どもたちが、5分で使用するようになっていました。クラスによって休憩時間が変わることで、余裕をもってトイレや流し場を使用することができるようになります。

その3 相手を思う気持ちが育ちます！

- クラスによって休憩時間が違うので、ほかのクラスの様子を見て迷惑にならないようにと、思いやる気持ちが育ちます。
- クラスによって休憩時間が違うので、江戸時代からあったと言われる、他人を尊重する「お互い様」の気持ちが育まれます。

その4 先生たちの授業力がUPします！

- 135分や90分という時間を、学習内容に応じてコーディネートするので、駒っ子たちに身に付けたい資質・能力を意識した授業づくりを工夫する必要感が生まれます。
- 経験の浅い先生も、学年で協力して授業づくりを行うようになることで、教員としての力が高まります。

※フレキシブルな時間割でも、基本の時間割は、これまでどおり45分を単位時間とします。

子どもも先生も
笑顔になれる
駒岡小に！

